

このページは、小・中学生向け
梅光学院大学子ども学部子ども
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が
作っています。

※イラスト 二坂佑佳さん、安藤志志さん

しものせき キッズページ

しりつちゅうおうとしょかん たの
「市立中央図書館で楽しむ

どくしょ あき
『読書の秋』



▲館長の特製しおり



▲4階の児童図書コーナー。「どれを読もうかなー?」と、子どもが探しやすいように、低い本棚になっています。

知識が増えたり、表現力が豊か
になったりと、読書がもたらす効
果はたくさんあります。今回は、
そんな読書の秋をより楽しむため
の工夫や機能がたくさんある市立
中央図書館を紹介します。

中央図書館は
どんなところ?



平成22年3月20日に開館した市
立中央図書館には約38万2000
冊の本があり、本や資料を求め、
多くの人が利用しています。4階
は主に子ども向けの本が並ぶ他、
「郷土情報コーナー」や子どもに読
み聞かせができる「おはなしの部

屋などを完備しています。他にも
DVDを借りる(1週間2本)こと
も、視聴することもできます。
5階には「一般図書コーナー」が
あり、小説や実用書などの一般図
書が置かれています。

本を借りるための
3つの方法



本を借りる方法は大きく分けて
3通りあります。①図書館のカウ
ンター、②自動貸出機、③予約ロッ
カーです。

カウンターには、借りたい本を
登録証と一緒に持ってきています。
登録証は、利用申請書と身分証
明書(中学生以下は保護者の署名が
必要)をカウンターに提出すれば作
ることができます。

自動貸出機は、借りたい本をカ
ウンターを通さずにその機械から
直接借りることができます。

予約ロッカーは、読みたい本を
なかなか借りられなかったり、本
を探す時間がなかったりする人の
ためにあります。国内で唯一の
設置で、携帯から予約した本をカ
ウンターまで取りにいかに、1
階の予約ロッカーで受け取れるシ
ステムです。夜10時まで使うこと
ができるうえに、休館時にも対応
しています。

読書通帳で
本の記録を!



読書通帳とは、銀行の預金通帳
のように読んだ本を機械で記録し
ていき、自分の読書記録を楽しめ
るものです。これは、市立中央図
書館が日本で初めて導入しました。
1つの通帳に216冊まで記入でき、
50冊読むごとに館長のオリジナル
「特製しおり」がもらえます。この
特製しおりを100枚集めると、「下
関100物語」が完成します。

読書通帳はサービスカウンター
で無料配布しています。子どもだ
けでなく大人も利用できますので、
ぜひたくさん本を読んで「下関100
物語」を完成させましょう!

調べもののお手伝い
もしています



「どうやって調べたらいいか分
からない」「この本はどこにあるの?」
など、図書館には皆さんの調べも
のお手伝いをする「レファレンス
カウンター」があります。困ったと
きは、思い切ってレファレンスで
聞いてみましょう!

★開館時間

▽4階 午前9時～午後8時
▽5階 午前9時～午後9時
市立中央図書館 ☎231-2226



9月号の編集記者(左から)
坂本啓彰さん、井上一樹さん



▲子ども用の自動貸出機。台の真ん中に本を置き、登録証をかざすだけで借りられます!



▲小・中学校、幼稚園などに貸し出す絵本などもあります。学校の先生にお願いしてみよう!